

交換用バッテリーパック

BWB120T / BWB55T 取扱説明書

本製品は、BW120T / BW100T / BW55T / BW40T 専用の交換用バッテリーパック(以降バッテリーと呼ぶ)です。

目次

安全上のご注意 1



1. 付属品を確認する 3

2. バッテリーの交換 4





安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

■この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。














 警告	正しい取り扱いをしなければ、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万が一の場合は重傷や死亡に至る恐れがあります。 また、同様に重大な物的損害を受ける恐れがあります。
 注意	正しい取り扱いをしなければ、軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

-  : 禁止(してはいけないこと)を示します。例えば  は分解禁止を意味しています。
-  : 強制(必ずしなければならないこと)を示します。例えば  はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 **警告**

- 梱包のポリ袋やフィルム類は、幼児の手の届かない場所に保管する。 
- 小さいお子様がかぶったりのみ込んだりすると、呼吸を妨げる危険性があります。 
- バッテリーの分解、改造をしない。 
- 液体（電解液）が漏れ、触れると失明、やけどなどの恐れがあります。 
- バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえたりしない。 
- バッテリーが発熱、発煙、破裂、発火する恐れがあります。 
- 液体（電解液）が漏れ、触れると失明、やけどなどの恐れがあります。 
- 落下に巻き込まれるとけがをする恐れがあります。 
- バッテリーを火の中に投棄したり、破壊したりしない。 
- バッテリーが破裂、爆発したり、液体（電解液）が漏れたりすることがあります。また、火災の恐れがあります。 
- 交換作業は安定した平らな場所で行う。 
- バッテリーは落下しないよう、両手でしっかりと保持してください。落下によるけが、バッテリーからの液漏れによる失明や、やけどなどの恐れがあります。 
- バッテリーコネクタを差し込んだときに、「パチッ」と音が聞こえることがありますが、問題ありません。 

警告

バッテリーは必ず指定品を使用する。

- 指定以外のバッテリーを使用した場合、本機の故障、発煙、発火、火災の恐れがあります。不適切な種類のバッテリーに交換した場合は、爆発の恐れがあります。
- 同じ種類、同じ数のバッテリーに交換してください。バッテリーについては、UPS 本体の取扱説明書を参照してください。



可燃性ガスがある場所でバッテリーを交換しない。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発、火災の恐れがあります。



バッテリーから液漏れがあるときは液体（電解液）に触れない。またバッテリーを逆さまにしない。

- 失明や、やけどをする恐れがあります。
- 液体（電解液）が、目や皮膚に付着したときは、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診断（診療）を受けてください。
- 交換用バッテリーパックを包装してあるビニール袋にそのまま入れ、テープで封止してください。



バッテリー接続コネクタやバッテリー収納部に金属物を挿入しない。バッテリーやコネクタの端子間をショートさせない。

- 感電や発煙、発火、やけどの恐れがあります。
- 使用済みのバッテリーでも、内部に電気エネルギーが残っています。



バッテリーを取り外すときに、ケーブルやコネクタを持って引っ張らない。

- ケーブルの損傷により、感電や発煙、発火の恐れがあります。



バッテリー交換の際は、以下の注意事項を遵守する。遵守しない場合、UL 規格に適合しません。

- 感電、ショートの恐れがあります。
 - ・ 時計、指輪などの貴金属類は着用しないでください。
 - ・ グリップ部分が絶縁されたドライバを使用してください。
 - ・ 絶縁性の手袋と靴を着用してください。
 - ・ バッテリーの上には工具や金属類を置かないでください。
 - ・ バッテリーを接地しないでください。また、接地状態のバッテリーには触らないでください。
 - ・ 本体内部に手を入れないでください。
- バッテリー交換はバッテリーの危険性や注意すべきことを理解している人に依頼する、またはその人の監督の下で行ってください。



注意

UPS 本体を UL 規格適合品として使用する場合、バッテリー交換作業は、接続機器の AC 入力プラグを抜いた状態で UPS 本体の電源を切り、商用電源の供給を止めてから行う。

- 運転状態でのバッテリー交換機能は、UL 規格に適合していません。
- 交換作業中は、接続機器への給電はできません。バックアップ運転中にバッテリー交換をしないでください。また、運転状態でのバッテリー交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、出力は停止します。
- 商用電源の供給停止については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。



◆お願い◆

購入後は早めに充電してください。

ご購入後長期間充電しないと、バッテリーが劣化し、使用できなくなることがあります。

- 充電時間については、UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

バッテリー交換後は、必ずバッテリー寿命カウンタのリセットを行ってください。

- もしバッテリー寿命カウンタのリセットを行わなかった場合、バッテリーの期待寿命より早くバッテリー劣化アラームが発生してしまう恐れがあります。

頻繁にバックアップ動作をする用途に使用しないでください。

- バッテリーの劣化が早まり、寿命が著しく短くなる場合があります。

この製品には、鉛バッテリー（鉛蓄電池）を使用しています。

- 鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。鉛バッテリーの交換および使用済み製品の廃棄に際しては、リサイクルへご協力ください。

リサイクルについては、UPS 本体の取扱説明書（最終ページ）の「お問い合わせ窓口」までご連絡いただくか、当社ホームページより、リプレイスサービス引取申込書をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、当社までご送付ください。

その際に、ショートの実験がありますので、端子部をテープ等で絶縁してください。



バッテリーを UPS 本体に入れて保管される場合はバッテリーを完全に充電し、電源を切ってください。また、以下の通り定期的に再充電してください。

バッテリーは使用しない場合でも自己放電し、長期間放置すると過放電状態となります。バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。

- 充電時間については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

- 再充電の目安

・ 保管温度 25°C 以下：6 か月以内

・ 保管温度 40°C 以下：2 か月以内

- 長期間保管される場合は 25°C 以下の環境を推奨します。

- 保管中は UPS 本体の「電源」スイッチを切ってください。

1. 付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。

万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐにオムロン電子機器カスタマサポートセンターへご連絡ください。

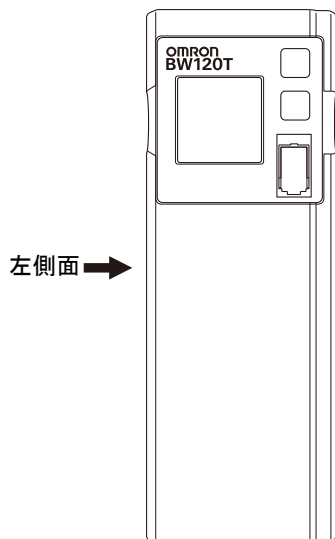
- 取扱説明書（本書） 1 冊
- バッテリー交換日ラベル 1 枚
- リプレイスサービス引取申込書 1 枚

2. バッテリーの交換

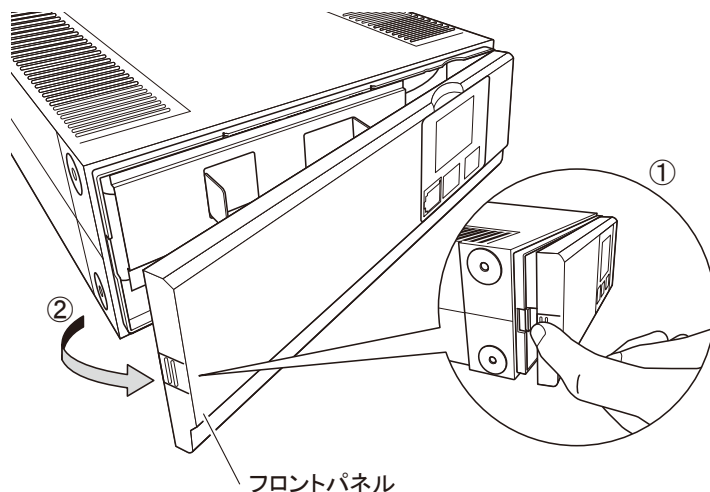
まずはバッテリーを用意してください。バッテリーはテープおよびフィルムにより固定されているため、剥がさないでください。次にバッテリーを交換します。

< BWB120T >

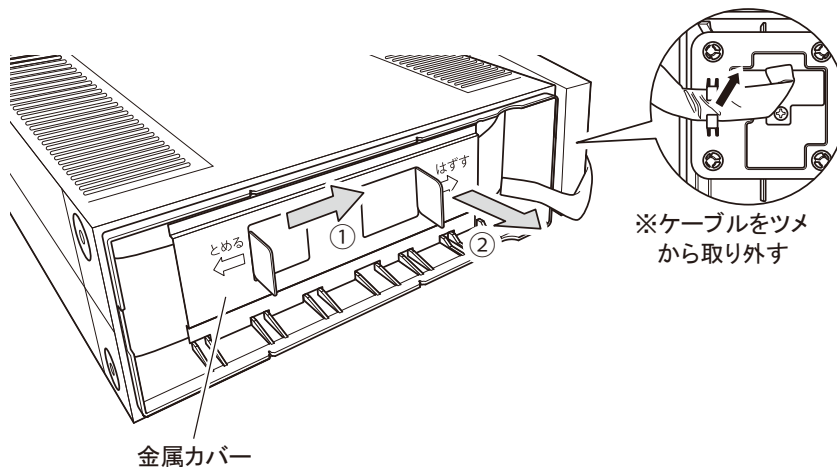
1. UPS 本体左側面が上になるようにゆっくり倒します。



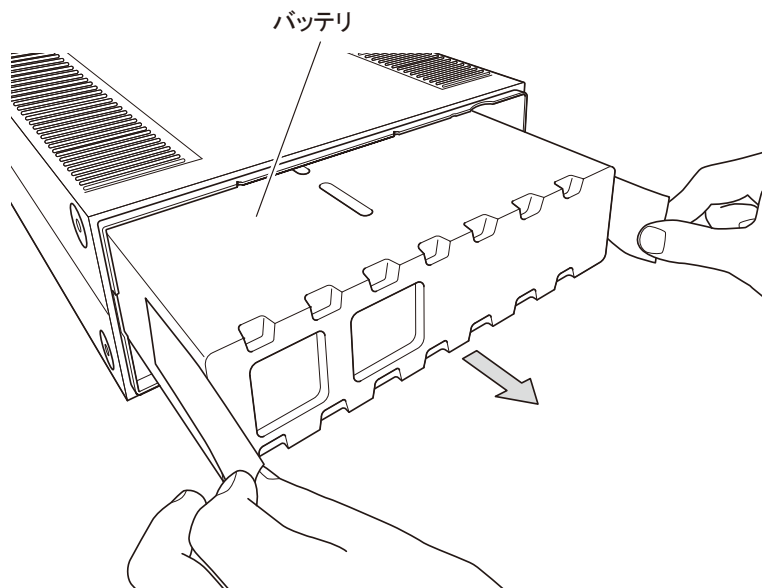
2. フロントパネル下部のツメを軽く押しながら ①、フロントパネルを手前に強く引いて取り外します ②。ケーブルをねじったり、バッテリーで挟んだりしないように注意してください。断線の恐れがあります。



3. 金属カバーの突起部を持って右にスライドし (①)、手前に引いて取り外します (②)。
フロントパネルを横に置く場合は、ケーブルをフロントパネルのツメから取り外してください。



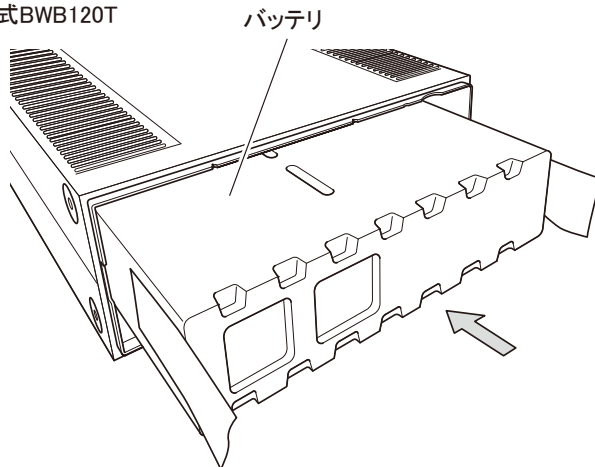
4. バッテリーの両側にあるテープを持ち、バッテリーを取り出します。
バッテリーに貼ってある赤いテープが見えたらあと 6 cmほどでバッテリーが完全に取り出せます。



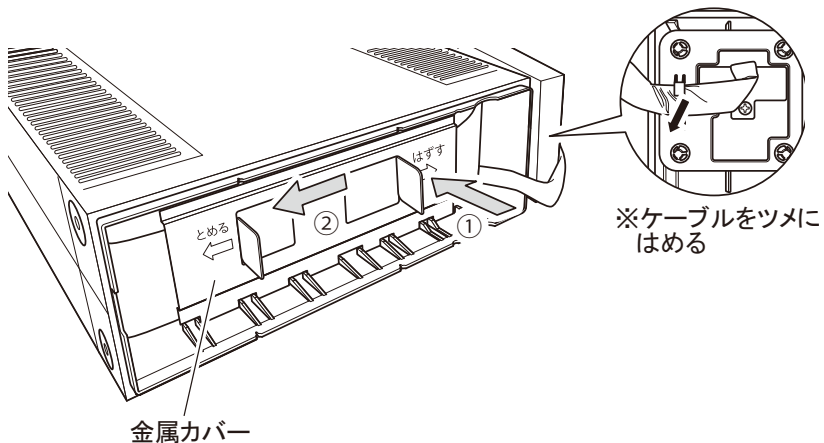
5. 新しいバッテリーを挿入します。
奥までしっかりと押し込むと、バッテリー背面のコネクタが UPS 本体に接続されます。
コネクタ接続時にパチッと音がすることがありますが、異常ではありません。

●バッテリー

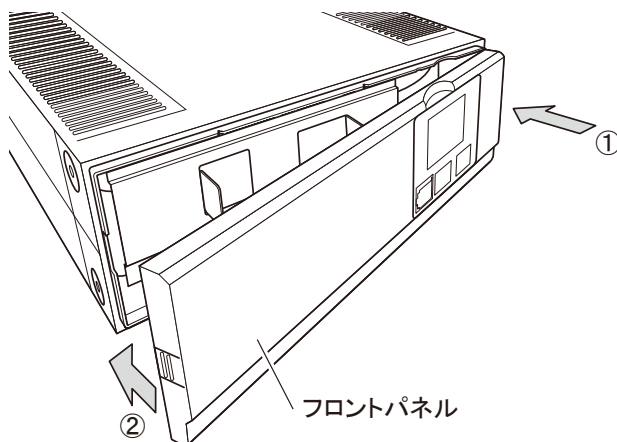
BW120T/BW100T 用: 型式BWB120T



6. 金属カバーを UPS 本体にはめ (①)、左にスライドして固定します (②)。
ケーブルをフロントパネルのツメから取り外している場合は、ケーブルをツメにはめ込んでください。



7. フロントパネルの上部を UPS 本体にはめ (①)、下部を押し込んで UPS 本体に固定します (②)。



8. 交換作業が終わったら、自己診断テストの実施とバッテリー寿命カウンタをリセットします。

- 「AC 入力プラグ」を電源コンセント（商用電源）に接続した状態で交換した場合
 1. 「ブザー停止 / 決定」スイッチと「選択」スイッチを同時に押します。（長押し1～2秒程度）ブザーが「ピー（連続音）」と鳴ったら指をスイッチから離します。
 2. 画面が「S11」表示に切り替わることを確認します。
 3. 「選択」スイッチを押し（長押し1～2秒程度）、指をスイッチから離す度に画面表示を切り替えます。
 4. 「選択」スイッチを押し、「C00」が点灯表示されるまで操作してください。
「C00」：自己診断テスト（手動）
表示順：「S11」→「S21」→「S31」→「S51」→「S70」→「S81」→「S90」→「SC0」→「SJ.0」→「SL0」→「C00」→「C01」（→「S11」に戻る）
 5. 「C00」点灯表示状態で「選択」スイッチを押し（長押し5秒程度）、指をスイッチから離します。暫くすると「C00」が点滅表示に切り替わります。
 6. 「ブザー停止 / 決定」スイッチを押します。（長押し1～2秒程度）
ブザーが「ピー（連続音）」と鳴ったら指をスイッチから離します。
画面表示が「FU」（自己診断テスト中）から「C00」へ切り替わります。

以上で自己診断テスト完了です。

次項よりバッテリー寿命カウンタリセット操作を行います。

7. 「選択」スイッチを押し（長押し1～2秒程度）、指をスイッチから離す度に画面表示を切替えます。
8. 「選択」スイッチを押し、「C01」が点灯表示されるまで操作してください。
「C01」：バッテリー寿命カウンタリセット
表示順：「S11」→「S21」→「S31」→「S51」→「S70」→「S81」→「S90」→「SC0」→「SJ.0」→「SL0」→「C00」→「C01」（→「S11」に戻る）
9. 「C01」点灯表示状態で「選択」スイッチを押し（長押し5秒程度）、指をスイッチから離します。暫くすると「C01」が点滅表示に切り替わります。
10. 「ブザー停止 / 決定」スイッチを押します。（長押し1～2秒程度）
ブザーが「ピー（連続音）」と鳴ったら指をスイッチから離します。
画面が「C01」点灯表示へ切り替わります。

以上でバッテリー寿命カウンタリセット完了です。

11. 「ブザー停止 / 決定」スイッチと「選択」スイッチを同時に押します。（長押し1～2秒程度）ブザーが「ピー（連続音）」と鳴ったら指をスイッチから離します。
画面が通常表示に切り替わることを確認します。

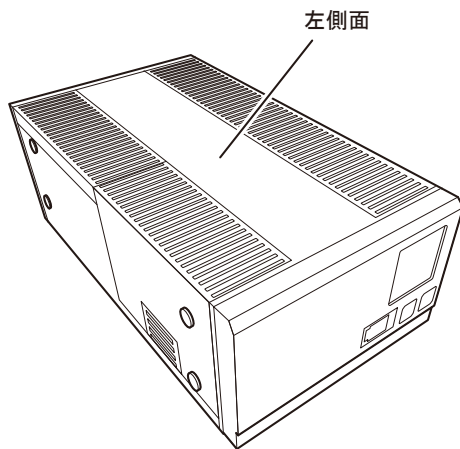
以上でバッテリー交換後の操作は終了です。

- 「AC 入力プラグ」を電源コンセントから抜いた状態で交換した場合
「AC 入力プラグ」を電源コンセントに接続し、上記の手順1、2、7～11の操作を行ってください。

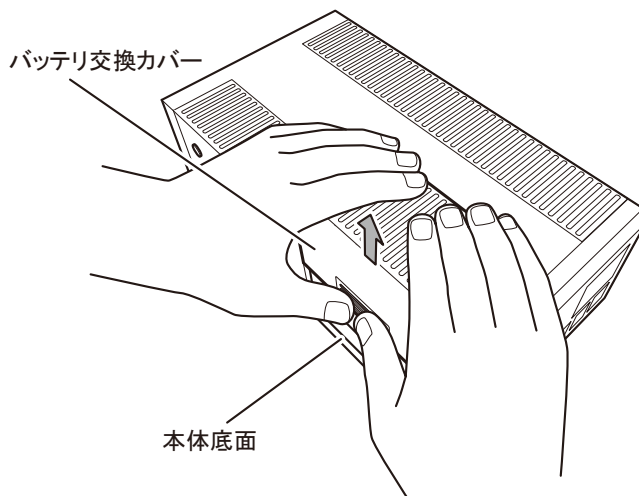
9. バッテリー交換日を記録します。
バッテリー交換日は、付属のバッテリー交換日ラベルに記入し、UPS本体に貼り付けてください。

< BWB55T >

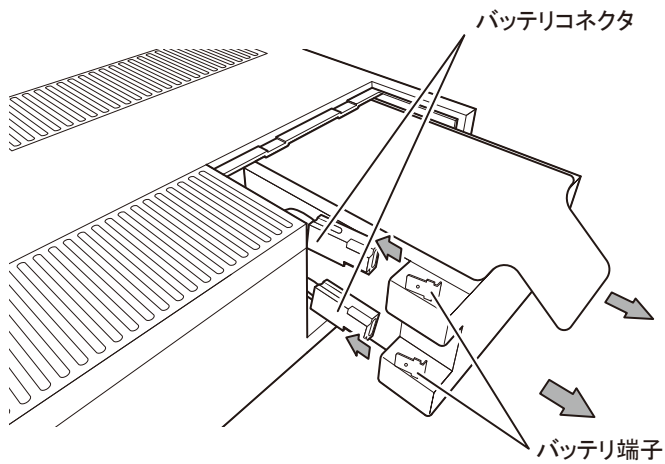
1. UPS 本体左側面が上になるようにゆっくり倒します。



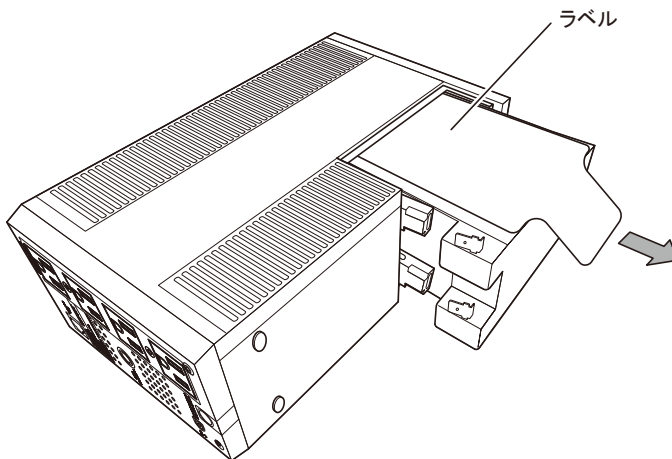
-
2. バッテリー交換カバーに両手を添えて、カバー下端のツメを指で軽く押しながら引き上げて取り外します。



-
3. バッテリーケーブルのコネクタを、バッテリーから外します。
右手でバッテリーを持ち、左手でバッテリーケーブル（赤）を掴んでバッテリーから引き抜きます。続いて、バッテリーケーブル（黒）を掴んでバッテリーから引き抜きます。
固くて抜けにくい時は、コネクタ部分を上下に揺らしながら引き抜いてください。



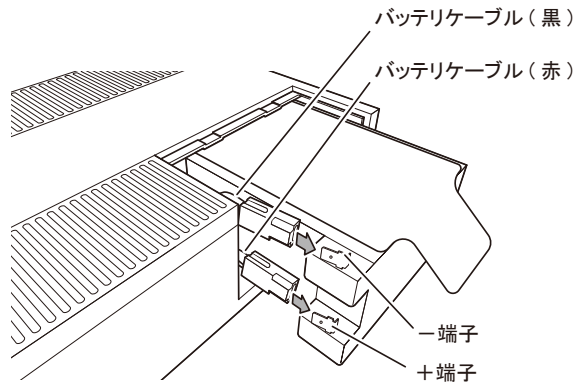
-
4. ラベルを持ってバッテリーを取り出します。
バッテリーに貼ってある赤いテープが見えたらあと6 cmほどでバッテリーが完全に取り出せます。
バッテリーを両手でしっかりと持ち、落下させないように注意してください。



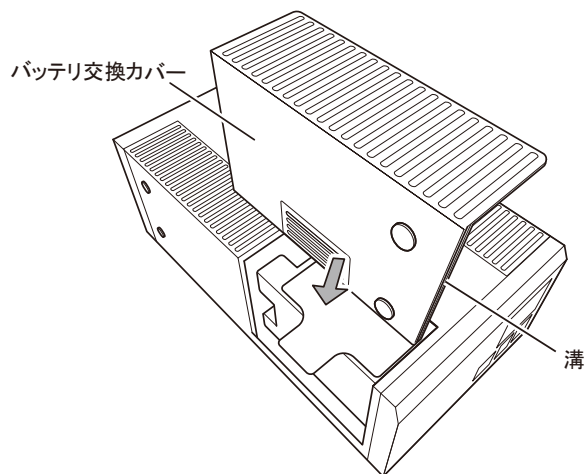
5. バッテリーケーブルのコネクタを、新しいバッテリーに接続します。
右手でバッテリーを持ち、左手でバッテリーケーブル（赤）のコネクタを＋端子に差し込みます。続いて、バッテリーケーブル（黒）のコネクタを－端子に差し込みます。
コネクタは、カチッと止まるまで差し込んでください。
コネクタ接続時にバチッと音がすることがありますが、異常ではありません。

●バッテリー

BW55T/BW40T 用: 型式名 BWB55T



6. バッテリー交換カバーの溝を UPS 本体に合わせ、スライドさせて取り付けます。



7. 交換作業が終わったら、自己診断テストの実施とバッテリー寿命カウンタをリセットします。

- 「AC 入力プラグ」を電源コンセント（商用電源）に接続した状態で交換した場合
 1. 「ブザー停止 / 決定」スイッチと「選択」スイッチを同時に押します。（長押し1～2秒程度）ブザーが「ピー（連続音）」と鳴ったら指をスイッチから離します。
 2. 画面が「S11」表示に切り替わることを確認します。
 3. 「選択」スイッチを押し（長押し1～2秒程度）、指をスイッチから離す度に画面表示を切り替えます。
 4. 「選択」スイッチを押し、「C00」が点灯表示されるまで操作してください。
「C00」：自己診断テスト（手動）
表示順：「S11」→「S21」→「S31」→「S51」→「S70」→「S81」→「S90」→「SC0」→「SJ.0」→「SL0」→「C00」→「C01」（→「S11」に戻る）
 5. 「C00」点灯表示状態で「選択」スイッチを押し（長押し5秒程度）、指をスイッチから離します。暫くすると「C00」が点滅表示に切り替わります。
 6. 「ブザー停止 / 決定」スイッチを押します。（長押し1～2秒程度）
ブザーが「ピー（連続音）」と鳴ったら指をスイッチから離します。
画面表示が「FU」（自己診断テスト中）から「C00」へ切り替わります。

以上で自己診断テスト完了です。

次項よりバッテリー寿命カウンタリセット操作を行います。

7. 「選択」スイッチを押し（長押し1～2秒程度）、指をスイッチから離す度に画面表示を切替えます。
8. 「選択」スイッチを押し、「C01」が点灯表示されるまで操作してください。
「C01」：バッテリー寿命カウンタリセット
表示順：「S11」→「S21」→「S31」→「S51」→「S70」→「S81」→「S90」→「SC0」→「SJ.0」→「SL0」→「C00」→「C01」（→「S11」に戻る）
9. 「C01」点灯表示状態で「選択」スイッチを押し（長押し5秒程度）、指をスイッチから離します。暫くすると「C01」が点滅表示に切り替わります。
10. 「ブザー停止 / 決定」スイッチを押します。（長押し1～2秒程度）
ブザーが「ピー（連続音）」と鳴ったら指をスイッチから離します。
画面が「C01」点灯表示へ切り替わります。

以上でバッテリー寿命カウンタリセット完了です。

11. 「ブザー停止 / 決定」スイッチと「選択」スイッチを同時に押します。（長押し1～2秒程度）ブザーが「ピー（連続音）」と鳴ったら指をスイッチから離します。
画面が通常表示に切り替わることを確認します。

以上でバッテリー交換後の操作は終了です。

- 「AC 入力プラグ」を電源コンセントから抜いた状態で交換した場合
「AC 入力プラグ」を電源コンセントに接続し、上記の手順1、2、7～11の操作を行ってください。

8. バッテリー交換日を記録します。
バッテリー交換日は、付属のバッテリー交換日ラベルに記入し、UPS本体に貼り付けてください。

本取扱説明書に記載されている各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。
本取扱説明書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁止されております。
本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

© OMRON SOCIAL SOLUTIONS CO.,LTD. 2018

オムロンソーシアルソリューションズ株式会社

NUD-D-17060E